

(様式 3)

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	木村 駿介	所属	立教大学大学院
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会 健康・スポーツ・臨床心理若手研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 7名 (うち認定心理士 2名) 非会員 10名 (うち認定心理士 1名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>本研究会は、①健康・スポーツ・臨床心理学の研究の発展に貢献すること、②基礎研究から実践研究に至る幅広い視野を育成すること、③若手研究者間のネットワークづくり、の3つを目的としている。</p> <p>日本心理学会より助成を頂いて3年目となる本年度は、研究会活動をはじめ、国際心理学会議第31回大会におけるテーマティックセッション(シンポジウム)、夏(9月)に研究集会を開催するなど、昨年度同様に多様な活動を展開することができた。</p> <p>本年度は、これまでの研究会や研究会集会で得られた示唆をもとにしたレビュー論文「困難な状況からの回復や成長に対するアプローチ—レジリエンス、心的外傷後成長、マインドフルネスに着目して—(上野・飯村・雨宮・嘉瀬, 印刷中 心理学評論)」の執筆に関する討議を中心に研究会活動を行った。また、国際心理学会議第31回大会では「Highly Sensitive People in Japan : From Measurement to Psychological Approaches」のテーマにて、日本国内で最先端の研究を行っている先生2名を司会者(中京大学大学院・高橋亜希先生)、指定討論者(東京家政大学・平野真理先生)としてお招きし、国内初のHighly Sensitive Personのシンポジウムを行った。研究会からは、教育心理学、スポーツ心理学、臨床心理学、心理統計学の観点から4名が話題提供者として登壇し、フロアの先生方と活発なディスカッションを行うことができ、実りあるものとなった。</p> <p>研究会成員の所属変更などにより、定期的な活動の頻度は減少したが、上述のように昨年研究会内外での共同研究が活性化され、論文や学会発表、現場などの活動成果に現れた。</p> <p>日本心理学会より助成を頂いたことで、会議室を利用し研究集会を実施することが可能となりました。また、研究会の活動報告書を作成し、活動の記録と広報を行うことができました。研究会の発展的な活動にご助力頂いたことに深く感謝申し上げます。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
Highly Sensitive People in Japan : From Measurement to Psychological Approaches (Thematic session: International Congress of Psychology)				
研究集会開催日 : 2016年 7月 27日				
	氏名	所属	会員番号	認定番号
1	高橋亜希	中京大学大学院心理学研究科		
2	平野真理	東京家政大学	090247	
3	飯村周平	中央大学大学院	140096	
4	雨宮 怜	筑波大学大学院	130205	36254
5	上野雄己	日本学術振興会特別研究員	130132	
6	嘉瀬貴祥	立教大学大学院	140217	
7	坂内くらら	立教大学大学院		
8				
9				
10	その他 15名程度			
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
公益社団法人日本心理学会 健康・スポーツ・臨床心理若手研究会 夏季研究会				
研究集会開催日： 2016年 9月 3日				
	氏名	所属	会員番号	認定番号
1	木村駿介	立教大学大学院	160104	
2	田崎 茜	東京メディカル・スポーツ専門学校		
3	雨宮 怜	筑波大学大学院	130205	36254
4	上野雄己	日本学術振興会特別研究員	130132	
5	嘉瀬貴祥	立教大学大学院	140217	
6	池田真理子	大和病院	110013	
7	飯村周平	中央大学大学院	140096	
8	坂内くらら	立教大学大学院		
9	神谷 慶	桜美林大学 臨床心理センター		
10	岩崎佑未	アントワープカウンセリングオフィス		
11	川村愛基	法務省		
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2017年 3月26日

日本心理学会研究会 2016 年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会 健康・スポーツ・臨床心理若手研究会

研究会番号 研16022

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2016年9月3日	会議室利用料金 (アットビジネスセンター池袋)	12,960
2017年3月23日	研究会活動報告書印刷費 (キンコーズ池袋西口店)	18,504
支出合計		¥31,464